# ２０１９年度
# 公益社団法人 日本地すべり学会東北支部
# 第３５回 総 会

# 議　案　書

開催場所：仙台市戦災復興記念館　記念ホール
開催日時：2019 年 4 月 22 日（月）　13 時 00 分～13 時 45 分

議事次第

１．　開　会
２．　支部長挨拶
３．　議　事
　○ 第一号議案　2018 年度事業報告
　○ 第二号議案　2018 年度収支決算報告及び監査報告
　○ 第三号議案　2019 年度事業計画（案）
　○ 第四号議案　2019 年度収支予算（案）
　○ 第五号議案　支部運営規則改定の件（案）
　○ その他
　○ 報告事項ほか
　○ 表彰
４．　閉　会

---

２０１９年度シンポジウム　14 時 00 分～17 時 30 分
意見交換会（グランテラス仙台国分町）　18 時 00 分～20 時 00 分

## ○ 第一号議案　2018 年度事業報告

### (1) 支部総会・シンポジウム

＜支部総会＞

①　日　時　2018 年 4 月 16 日　13:00～13:45

②　場　所　仙台市戦災復興記念館記念ホール（参加者　80 名）

③　議　事　第一号議案　　平成 29 年度事業報告

第二号議案　　平成 29 年度収支決算報告及び監査報告

第三号議案　　2018 年度事業計画（案）

第四号議案　　2018 年度収支予算（案）

第五号議案　　役員改選及び組織改編の件（案）

その他・報告事項

＜シンポジウム＞

①　日　時　2018 年 4 月 16 日　14:00～17:30

②　場　所　仙台市戦災復興記念館記念ホール（参加者　219 名）

③　テーマ　「高精度地形データの地すべり調査での活用と方向性」　（CPD：3.25 時間）

○ 基調講演　「国土地理院の地形計測－これまでとこれから－」

国土地理院地理地殻活動センター長　宇根　寛 氏

○ 講　演

・「地形図革命をいかに生き残るか！」　　山形大学地域教育文化学部教授　八木浩司 氏

・「UAV 空撮による高分解能 DSM データの地すべり調査での活用事例」

国土防災技術（株）技術本部第二技術開発センター長　土佐信一 氏

・「航空レーザ測量を活用した斜面変動の調査と対策」　　国際航業（株）大粒来茂樹 氏

・総合討論　司会（コーディネーター）　八木浩司 氏　池田浩二 氏

話題提供（株）東北開発コンサルタント　池田浩二 氏「DEM テータの活用事例」

＜意見交換会＞

○ 会　場　　グランテラス仙台国分町　（参加者　64 名）

### (2) 会議等

① 役員会

・第 1 回役員会、兼巡検計画委員会（2018 年 6 月 14 日　戦災復興記念館会議室　14 名）

岩手宮城内陸地震 10 年メモリアルシンポジウム、事業計画・実施状況、支部運営規則及び表彰規定案、2018 年度現地検討会実施計画案（巡検計画委員会）等に関する協議

・第 2 回役員会（2019 年 2 月 13 日　東北工業大学一番町ロビーホール　8 名）

2019 年度総会・シンポジウム日程、事務局移転、事業実施状況に関する協議ほか

② 拡大幹事会

・第 1 回拡大幹事会（2018 年 8 月 17 日　仙台市民会館会議室　24 名）

地すべり現地検討会の計画・実施要領、支部規則･表彰規定改定に対する協議ほか

・第 2 回拡大幹事会（2019 年 2 月 13 日　東北工業大学一番町ロビーホール　20 名）

2018 年度事業報告及び決算（案）、2019 年度事業計画及び予算（案）、支部規則･表彰規定改定、事務局移転に関する協議ほか

③ 運営委員会（2019 年 3 月 15 日　仙台市 復建技術コンサルタント会議室　19 名）
2018 年度事業報告及び決算（案）、2019 年度事業計画及び予算（案）の審議
事務局移転及び幹事等人事の承認に関する協議ほか

**(3) 支部ワーキンググループ「斜面変動研究の次世代コロキウム」の開催（事業企画委員会）**

① 趣　旨　支部若手会員の技術的交流の場として分科会活動を継続、拡大し、学会等での発表や投稿を視野に地すべり調査における技術の伝承を図るとともに、支部の会勢拡大に繋げる。今年度は 5 回実施されており、2019 年度も継続して実施する予定。また、本部の「若手会員対策費(17 万円)」を活用して事業展開した。

② 開催日　概ね 2 ヶ月毎に開催し、合計 5 回開催

第 1 回：6 月 30 日　趣旨・方針説明、参加者自己紹介　参加 19 名
第 2 回：8 月 4 日　国土防災技術(株)試験研究所訪問　参加 21 名
第 3 回：9 月 22 日　分科会報告　参加 12 名
第 4 回：11 月 17 日　岩手大学理工学部大河原研究室訪問　参加 15 名
第 5 回：3 月 9 日　「GIS を用いた地形･水文解析演習」　参加 23 名
・松四雄騎准教授（京都大学防災研究所）を招いて、地形の半自動区分や簡単な水文解析などについて GIS ソフトを用いて演習

＜コロキウム開催状況＞

**(4) ミニ巡検（事業企画委員会）**

① 趣　旨　「海底地すべりの露頭巡検」をテーマに秋田県横手市周辺の代表的な露頭を巡り、地層中に見られる海底地すべりなどの異常堆積構造の成因を考えるとともに、若手会員間の親睦を深めた。

② 開催日　2018 年 4 月 26 日～27 日

③ 参加者　15 名
(支部コロキウムメンバー主体)

＜巡検状況＞

### (5) 東北支部地すべり現地検討会の開催（巡検計画委員会）

① 期　日　2018 年 9 月 27 日～28 日
② 場　所　青森県「権現崎地すべり・下前地すべり」
③ 未対策のまま放置された地すべりと、概成し監視段階に移行した地すべりを見学し、地すべり地形の抽出とブロック区分や発生機構について検討
④ 参加者　53 名　（女性 5 名、男性 48 名）
⑤ ＣＰＤ　ＪＣＣＡ認定を取得（6.83 単位）

### (6) 災害調査派遣（巡検計画委員会）

2018 年 5 月に福島県喜多方市揚津地区で発生した地すべり災害に対して、八木浩司前支部長を団長に、5 月 31 日（参加 20 名）に緊急現地調査を実施した。調査結果を踏まえて、地すべり機構調査や応急対策、推察される発生機構などについて福島県担当部局に提言した。応用地質学会、地盤工学会への参加案内を行った。

その後も水文調査や UAV による移動量調査などを継続し（第 2 回:参加 5 名、第 3 回:参加 2 名)、学会誌に寄稿するとともに、全国大会(新潟市)ではパネル展示を行った。

### (7) 広報活動等（広報委員会）

① 支部だより第 29 号の発行（2018 年 12 月 20 日）
・印刷部数 300 部、発送部数 282 部
・同じ所属会社の会員にまとめて発送し経費節減を図った。
② 支部ホームページの更新、情報発信
・各種事業案内・参加募集、委員会活動報告、支部行事等の掲載など

### (8) 関連団体との連携・地域貢献

① 宮城県砂防ボランティア協会へ講師派遣
・期　日　2018 年 5 月 16 日
・講　師　池田　一 氏（日本工営（株）仙台支店）
・演　題　「蔵王山における火山噴火緊急減災対策と近年の火山噴火時の対応について」
② 福島県会津農林事務所研修会へ講師派遣
・期　日　2018 年 6 月 29 日
・講　師　熊井直也 氏（国土防災技術（株））
・演　題　「地すべりに関する基礎知識（発生機構･調査方法･対策工)」
③ 「岩手宮城内陸地震 10 年メモリアルシンポジウム」の共催
・期　日　2018 年 7 月 6 日～7 日

震災発生から 10 年を迎え、災害復旧の対策にも完成の目途がつき、地域では復興の兆しが見えつつあり、ジオパーク活動と学校の総合学習・防災教育との協働も定着してきた。地震を契機とした斜面災害の実際と克服過程を振り返り、併せて国内外の様々な斜面災害対応の諸事例にも教訓を求めるために、「地震による斜面災害の実際と克服の工夫」と題した国際シンポジウムと現地視察を、栗原市「栗駒山麓ジオパーク協議会」と共催した。

第29号
2018.12.20

(公社)日本地すべり学会
# 東北支部だより vol.29

東北支部事務局
〒980-0824
仙台市青葉区支倉町2番10号
株式会社テクノ長谷内
担当:島本、阿部　☎022-222-6457

## 支部長就任のご挨拶

東北支部長
**大河原　正文**
(岩手大学 理工学部
システム創成工学科 准教授)

4月16日に開催された東北支部総会で、平成30年度東北支部長を拝命いたしました。このような大役を仰せつかり、身の引き締まる思いがいたします。微力ながら東北支部のために力を尽くしたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

東北支部は、2年後の2020年に35周年を迎えます。支部の会員数は、正会員が約150名、設立時から支部活動にご協力いただいている方々を含めますとおよそ370名に達します。支部構成員につきましては、総会の定足数や議決数、各種事業への募集範囲などに直接かかわることであるため、現在、支部運営規則の見直しを検討しているところです。運営規則の施行にあたっては総会の決議が必要となりますので、来年4月の総会では忌憚のないご意見をよろしくお願いいたします。

また、官公庁の皆様には地すべり学会が公益社団法人として登記されたことにあわせて、平成30・31年度の役員改選から、慣例として委嘱申し上げていた「運営委員」を改め、「オブザーバー」として支部活動を側面から支援、ご助言を賜ることになりました。オブザーバーの設置等に関して、ご連絡が遅くなりましたことお詫び申し上げますとともに、これまで同様、東北支部へのご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

地すべり学会東北支部は、(公社)土木学会東北支部、(公社)地盤工学会東北支部とともに、国土交通省東北地方整備局との「災害時における調査の相互協力に関する協定」、(一社)斜面防災対策技術協会東北支部と「地すべり等斜面防災対策技術の調査、研究、普及等に関する協定」を締結しております。引き続き他学会支部や行政機関と協力して、発災時に迅速に対応すべく努力してまいりますので、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

ここ10年の間に東北地方だけでも2008年「岩手・宮城内陸地震」、2011年「東日本大震災」、2013年「秋田・岩手豪雨災害」、2016年「台風10号豪雨災害」などの甚大な災害が立て続けに発生しています。台風10号では、1000箇所を超える斜面において土石流、斜面崩壊が発生し、岩手県だけでも水害被害額は1680億円(平成30年3月23日、国土交通省確報値)に達しました。東北地方はこれまで台風に直撃された経験がほとんどなく、豪雨に対して脆弱な地域と言っても過言ではありません。従来にも増して防災、減災に対する切実な要望と学会への期待が寄せられております。今後も現地調査やシンポジウムなどを通して国内外に情報発信すべく、会員の力を結集して進んで参りたいと考えております。5月に実施された「揚津地すべりでの現地調査」、7月に開催された「岩手宮城内陸地震10年メモリアル国際シンポジウム」などは、まさにそれに応えるものです。「メモリアル国際シンポジウム」では、国内はもとより台湾、ベトナム、中国などから約200名の地すべり技術者・研究者、学生さらには地域住民の方々にご参加いただきました。この場を借りてご協力いただいた皆様方に厚く御礼申し上げます。

今年度の現地検討会は、9月に青森県小泊地区で開催され、滑動中の地すべりを踏査するという貴重な機会となりました。来年度は、岩手県での開催を予定しております。若手技術者の技量アップに大変有益な機会ですので、皆様お誘い合わせの上、是非、ご参加ください。

また、支部活動の重要な柱として、人材育成が挙げられます。「斜面変動研究のコロキウム」講座において、経験豊富な会員の皆様に次代を担う若手技術者の育成にお力添えをいただいております。今年度は、すでに4回開催され、若手技術者の皆さまの活発な議論の場となっております。

このように支部では、現地調査および検討会、シンポジウム、出版事業、人材育成などを柱とし、支部会員はもとより地域の皆様に貢献すべく邁進してまいります。

現在、支部では、会員の皆様の数々の功績を鑑み、何らかの功績を称える制度が必要ではないかとの考えから、支部表彰規定について検討しております。支部賞(仮称)が、皆様の功績を称えるとともに今後の地すべり研究の発展に寄与することを期待しております。

今後とも東北支部の活動にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 主な行事予定

**■支部開催事業**

**＊ 平成31年度(公社)日本地すべり学会東北支部総会・シンポジウム**
日　程：平成31年4月上旬(予定)
場　所：仙台市内(詳細は未定)
テーマ：未定

**＊ 東北支部地すべり現地検討会**
日　程：平成31年10月中旬(予定)
場　所：岩手県内(詳細は未定)

**■本部開催事業**

**＊ 平成31年度(公社)日本地すべり学会総会・シンポジウム**
日　程：平成31年6月14日(予定)
場　所：学術総合センター内「一橋大学一橋講堂」

**＊ (公社)日本地すべり学会 第58回(平成31年度)研究発表会及び現地見学会**
日　程：平成31年8月20日～24日(予定)
場　所：熊本県熊本市「KKRホテル熊本」

**＊ 災害調査報告会**
日　程：平成31年11月21日(予定)
場　所：学術総合センター内「一橋大学一橋講堂」

○ 第二号議案　２０１８年度収支決算　　2019.3.31 現在

（円）

| 【収益】 勘定科目 大科目 | 中科目 | 小科目 | 細目 | 当期予算 a | 当期決算 b | 増減 a−b |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 支部収益 | | | | 1,635,050 | 1,676,516 | △ 41,466 |
| | 事業収益 | | | 1,035,000 | 1,116,500 | △ 81,500 |
| | | ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ収益 | | 360,000 | 360,000 | 0 |
| | | | 参加費 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 意見交換会費 | 360,000 | 360,000 | 0 |
| | | 現地検討会収益 | | 675,000 | 721,500 | △ 46,500 |
| | | | 参加費 | 495,000 | 589,200 | △ 94,200 |
| | | | 意見交換会費 | 180,000 | 132,300 | 47,700 |
| | | 技術講習会収益 | | 0 | 0 | 0 |
| | | | 参加費 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 意見交換会費 | 0 | 0 | 0 |
| | | 出版収益 | | 0 | 35,000 | △ 35,000 |
| | | | 会誌頒布 | 0 | 0 | 0 |
| | | | その他の出版 | 0 | 35,000 | △ 35,000 |
| | 協賛・寄付 | | | 600,000 | 560,000 | 40,000 |
| | | 協賛金 | | 600,000 | 560,000 | 40,000 |
| | | 寄付金 | | 0 | 0 | 0 |
| | 雑収益 | | | 0 | 0 | 0 |
| | 受取利息 | | | 50 | 16 | 34 |
| | 預り金 | | | 0 | 0 | 0 |
| | 研究発表会収益 | | | | 0 | 0 |
| 本部仮払金 | | | | 0 | 0 | 0 |
| | | | | | | |
| 当期収益合計（A=支部収益+本部仮払金） | | | | 1,635,050 | 1,676,516 | △ 41,466 |

| 【費用】 勘定科目 大科目 | 中科目 | 小科目 | 細目 | 当期予算 a | 当期決算 b | 増減 a−b |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 支部費用 | | | | 1,894,000 | 1,795,536 | 98,464 |
| | 事業費 | | | 1,631,000 | 1,537,744 | 93,256 |
| | | ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ会費 | | 530,000 | 490,238 | 39,762 |
| | | | 印刷製本費 | 30,000 | 23,000 | 7,000 |
| | | | 会場費（会場使用料） | 35,000 | 30,980 | 4,020 |
| | | | 会議費（意見交換会含む） | 320,000 | 355,000 | △ 35,000 |
| | | | 諸謝金 | 50,000 | | 50,000 |
| | | | 旅費交通費 | 60,000 | 57,700 | 2,300 |
| | | | 借料(ﾊﾞｽ・ﾚﾝﾀｶｰ代) | 0 | 0 | 0 |
| | | | 通信運搬費 | 30,000 | 21,074 | 8,926 |
| | | | 支払手数料 | 5,000 | 2,484 | 2,516 |
| | | | 消耗品 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 諸会費(CPD認定手数料等) | 0 | 0 | 0 |
| | | | 支払保険料 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 雑費 | 0 | 0 | 0 |
| | | 現地検討会費 | | 722,000 | 747,622 | △ 25,622 |
| | | | 印刷製本費 | 5,000 | | 5,000 |
| | | | 会場費（会場使用料） | 35,000 | 10,000 | 25,000 |
| | | | 会議費（意見交換会含む） | 495,000 | 101,602 | 393,398 |
| | | | 諸謝金 | 20,000 | 0 | 20,000 |
| | | | 旅費交通費 | 50,000 | 502,270 | △ 452,270 |
| | | | 借料(ﾊﾞｽ・ﾚﾝﾀｶｰ代) | 80,000 | 96,120 | △ 16,120 |
| | | | 通信運搬費 | 25,000 | 21,002 | 3,998 |
| | | | 支払手数料 | 2,000 | 1,728 | 272 |
| | | | 消耗品 | 2,000 | | 2,000 |
| | | | 諸会費(CPD認定手数料等) | 0 | 5,000 | △ 5,000 |
| | | | 外注費 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 雑費 | 8,000 | 9,900 | △ 1,900 |

（その 2）

| 【費用】 | | | | 当期予算 | 当期決算 | 増減 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 勘定科目 | | | | a | b | a-b |
| 大科目 | 中科目 | 小科目 | 細目 | | | |
| | | 技術講習会費 | | 125,000 | 113,258 | 11,742 |
| | | | 印刷製本費 | 10,000 | | 10,000 |
| | | | 会場費（会場使用料） | 15,000 | 15,050 | △ 50 |
| | | | 会議費（意見交換会含む） | 50,000 | 40,000 | 10,000 |
| | | | 諸謝金 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 旅費交通費 | 50,000 | 55,400 | △ 5,400 |
| | | | 借料(ﾊﾞｽ･ﾚﾝﾀｶｰ代) | 0 | 0 | 0 |
| | | | 通信運搬費 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 支払手数料 | 0 | 108 | △ 108 |
| | | | 消耗品 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 諸会費(CPD認定手数料等) | 0 | 0 | 0 |
| | | | 外注費 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 雑費 | 0 | 2,700 | △ 2,700 |
| | | ※その他の事業活動 | | 254,000 | 186,626 | 67,374 |
| | | | 印刷製本費(機関誌) | 170,000 | 170,100 | △ 100 |
| | | | 会場費（会場使用料） | 20,000 | 0 | 20,000 |
| | | | 会議費（意見交換会含む） | 25,000 | 0 | 25,000 |
| | | | 広告宣伝費 | 0 | 0 | 0 |
| | | | ﾊﾟｰﾄ･ｱﾙﾊﾞｲﾄ代 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 諸謝金 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 旅費交通費(社会貢献･緊急調査) | 20,000 | 0 | 20,000 |
| | | | 借料(ﾊﾞｽ･ﾚﾝﾀｶｰ代) | 0 | 0 | 0 |
| | | | 通信運搬費 | 18,000 | 15,662 | 2,338 |
| | | | 情報システム費(HP関係等) | 0 | 0 | 0 |
| | | | 支払手数料 | 1,000 | 864 | 136 |
| | | | 消耗品 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 備品 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 外注費 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 支払保険料 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 諸会費(CPD認定手数料等) | 0 | 0 | 0 |
| | | | 賞金･賞品(副賞･感謝状等) | 0 | 0 | 0 |
| | | | 雑費 | 0 | 0 | 0 |
| | | | その他 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | | | |
| | 管理費 | | | 263,000 | 257,792 | 5,208 |
| | | 給与･手当 | | 0 | 0 | 0 |
| | | | ﾊﾟｰﾄ給与 | 0 | 0 | 0 |
| | | | ｱﾙﾊﾞｲﾄ給与 | 0 | 0 | 0 |
| | | 会場費 | | 10,000 | 2,400 | 7,600 |
| | | 会議費 | | 25,000 | 44,992 | △ 19,992 |
| | | | 支部総会費 | | | 0 |
| | | | 幹事会･運営委員会 | 25,000 | 44,992 | △ 19,992 |
| | | 印刷製本費 | | 30,000 | 7,879 | 22,121 |
| | | 旅費交通費 | | 30,000 | | 30,000 |
| | | 借料 | | | | 0 |
| | | 通信運搬費 | | 5,000 | 33,205 | △ 28,205 |
| | | 消耗品（事務用品など） | | 5,000 | 18,020 | △ 13,020 |
| | | 情報システム費(OA,サーバー管理費等) | | 0 | 0 | 0 |
| | | 備品 | | 0 | 0 | 0 |
| | | 外注費 | | 150,000 | 150,000 | 0 |
| | | 支払手数料 | | 3,000 | 1,296 | 1,704 |
| | | 雑費 | | 5,000 | 0 | 5,000 |
| | | | | | | |
| 当期費用合計（B） | | | | 1,894,000 | 1,795,536 | 98,464 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 当期収支差額(C＝A－B) | △ 258,950 | △ 119,020 | △ 139,930 |
| 当期未払金 | | | |
| 前期未払金 | 17,850 | 17,850 | |
| 当期前払金 | | 17,850 | |
| 前期前払金 | | | |
| | | | |
| 前期繰越額 | 1,903,981 | 1,903,981 | 0 |
| 次期繰越額 | 1,662,881 | 1,784,961 | △ 122,080 |

（監査報告）

# 監査報告書（東北支部）

２０１９年４月３日

公益社団法人　日本地すべり学会
会　　長　　八木　浩司　殿

監事　三上澄志男　印
監事　渋谷　保　印

平成30年4月1日から平成31年3月31日までの会計および業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1　監査の方法の概要

（1）会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて決算書の正確性を検討した。

（2）業務監査について、会議等への出席、または支部長から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2　監査意見

（1）決算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、支部の経理の状況を正しく示していると認める。

（2）事業報告書の内容は真実であると認める。

（3）支部の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

## ○ 第三号議案　２０１９年度事業計画（案）

### (1) 支部総会・シンポジウム

＜支部総会＞

①　日　時　　2019 年 4 月 22 日　13:00～13:45

②　場　所　　仙台市戦災復興記念館記念ホール

③　議　事　　第一号議案　　2018 年度事業報告

第二号議案　　2018 年度収支決算及び監査報告

第三号議案　　2019 年度事業計画（案）

第四号議案　　2019 年度収支予算（案）

第五号議案　　支部運営規則改定の件（案）

その他・報告事項・表彰

＜シンポジウム＞

①　日　時　　2019 年 4 月 22 日　14：00～17：30

②　場　所　　仙台市戦災復興記念館記念ホール

③　テーマ　　「地すべりの安定化の判断と収束条件

－概成の考え方、その後の管理のあり方について－」

○基調講演　　「「直轄地すべり防止工事の完了の考え方（H16.1）」制定の経緯と完了事例」

一般財団法人砂防・地すべり技術センター理事　綱木亮介 氏

○講　演

「概成(事業中断)した地すべりの再活動と事業再開」　細谷健介　氏（新和設計株式会社）

「河川沿いの地すべり再活動」　荻田　茂　氏（奥山ボーリング株式会社）

「(仮)磐井川地すべりの概成について」　大坪俊介　氏（国土防災技術株式会社）

○総合討論　司会（コーディネーター）　金子和亮 氏　大村　泰 氏

＜意見交換会＞

①　日　時　　2019 年 4 月 22 日　18：00～20：00

②　場　所　　グランテラス仙台国分町

### (2) 東北支部活動

①　役員会

・2019 年 6 月、2020 年 2 月に予定、その他協議が必要な場合に随時開催

・支部事業の運営及び実施状況等に関する協議等

②　幹事会･拡大幹事会

・2019 年 8 月、2020 年 2 月に予定、その他協議が必要な場合に随時開催

・各種支部事業の計画立案、運営等に関する協議等

③　運営委員会

・2020 年 3 月に予定

・2019 年度事業報告・収支決算及び 2020 年度事業計画・予算（案）の審議

④　各委員会　：事業企画、巡検計画、広報、書籍編集

・事業実行に応じて随時開催

### (3) 若手育成事業「斜面変動研究の次世代コロキウム」の継続　（事業企画委員会）

① 趣　旨

支部若手会員の技術的交流の場として、学会等での発表や投稿を視野に地すべり調査における技術の伝承を図るとともに、広く支部会員の参加を呼びかけ会勢拡大に繋げていく。本部の「若手会員対策費」を活用する予定である。

② 分科会：攻撃斜面、キャップロック地すべり、地下水検層、応用地形判読

・各分科会毎にテーマを決めて研究、発表を行い議論を深める。

・本部分科会などへの積極的な参加や学会誌への寄稿を促す。

③ 実施要領

・第 1 回を 5 月に開催予定とし 2 ヶ月に 1 回程度、計 5～6 回の開催を予定する。

・参加人数は 20 名程度とし、参加については随時会員に広く公募する。

### (4) ミニ巡検の開催　（事業企画委員会）

・地すべりや特徴的な地形・地質に関して現地見学会的に小規模な巡検を企画する。

・参加人数は 10～15 名程度とし、随時会員に広く公募する。

### (5) 継続的な現地調査･研究の検討　（事業企画委員会）

・地すべり地における継続的な現地調査や研究を行うための研究フィールドを検討し、若手を含む会員の地すべり調査技術の向上や研究テーマの提供の可能性を企画、検討する。

・例として、2018 年度現地検討会開催地「青森県・権現崎地すべり」など

### (6) 地すべり現地検討会の開催　（巡検計画委員会）

① 場　所　　岩手県八幡平市「八幡平地すべり」

② 時　期　　2019 年 9 月下旬～10 月中旬（1 泊 2 日）

③ テーマ（案）「地すべりと地下水流動」

④ 募集人員　定員 45～50 人程度

⑤ 地すべり概要：八幡平地すべりは岩手県が所管で事業を進めている。鉱毒水対策に関連して地下水流動解析等が行われており、地すべり機構を考える上で有用な情報が得られる。

⑥ 宿泊先、検討会会場等は今後検討し、8 月下旬を目処に決定する。

＜検討会計画位置図＞

### (7) 災害調査派遣　（巡検計画委員会）

① 調査に値する災害情報が提供された場合は、本部「土砂災害緊急調査内規」に準じて調査派遣を検討、実施する。　→オブザーバーとの連携・情報収集、他学会･協会等と連携

② 調査目的と成果の明確化を図り、本部とも連携して実施する。

③ 調査後は報告書にまとめ提出するほか、ホームページなどで会員に広く広報する。

### (8) 社会貢献・会勢活動　（各委員会）

① 斜面防災のリスクの再認識を促し、コミュニティーの自助･共助の重要性などについての啓蒙･普及･研修に関する活動を計画する。

② 各委員会と連携し各種団体への出前講座や出張授業等を積極的に推進し宣伝活動を行う。

・対象や内容、講師など、中・長期的な戦略を立て情報収集を行う。

・シンポジウムや勉強会の開催

### (9) 他学協会との交流活動　（各委員会）

① 協賛団体、関連団体・学会との情報共有を推進する。

斜面防災対策技術協会東北支部　全国地質調査業協会連合会　東北地質調査業協会

砂防学会東北支部　土木学会東北支部　応用地質学会東北支部　地盤工学会東北支部など

② 関連協会への現地検討会参加による相互の意見交換と技術交流を図る。

③ 災害調査における連携

・関連学協会との合同調査に対して積極的な対応を推進する。

### (10) 広報活動　（広報委員会）

① 支部だより第 30 号の発行（2019 年 12 月の予定）

・支部会員、協賛団体及び企業への学会活動の情報提供

・支部行事、委員会活動の報告、支部ホームページにも掲載

② 支部ホームページの更新、情報発信

・各種事業報告ならびに事業開催案内・参加募集など

・今年度より行事案内等は原則メールで行える体制を構築する。

③ 会勢拡大活動

・他委員会と連携し講師派遣などを通した支部活動の宣伝活動を行う。

### (11) 書籍発刊

① 趣　旨　東北支部ではこれまで、地すべりを理解し、その知識を防災・減災に役立てるため地すべり地形を含む斜面の地形形成プロセスや安定度を、地形判読から推定できることを利用して、地すべりの危険度を評価する研究を行ってきた。その成果を斜面災害危険度評価のガイドブックとしてまとめ、一般に広く周知し利用してもらうことを目的に発刊する。

② 書籍名称　「防災のための地すべり地形の読み解き方－斜面災害危険度評価ガイドブック」

③ 出版時期　朝倉書店より 2020 年度末に発刊予定

④　執筆者は以下を予定する。

・編著　：八木浩司(山形大学)

・執筆者：八木浩司 宮城豊彦(東北学院大学) 檜垣大助(弘前大学) 林　一成(奥山ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ)
濱崎英作(ｱﾄﾞﾊﾞﾝﾃｸﾉﾛｼﾞｰ) 池田浩二(東北開発ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ)ほか

・支部　：支部では各章内におけるＱ＆Ａ、コラム、実践事例などを担当し執筆予定

⑤　支部内に「出版委員会」を組織し、出版に関する事務及び運営を行うものとする(申請中)。

⑥　スケジュール

・2019.4 月　　章立て、執筆担当者の決定･依頼、執筆

・2019.9 月　　第 1 稿入稿

・2020 年度　　出版社による編集・校正、年度末発刊予定

○ 第四号議案　２０１９年度収支予算（案）

| 【収益】 勘定科目 大科目 | 中科目 | 小科目 | 細目 | 当期予算 a | 前期予算 b | 増減 a−b |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 支部収益 | | | | 1,625,050 | 1,635,050 | ▲ 10,000 |
| | 事業収益 | | | 1,025,000 | 1,035,000 | ▲ 10,000 |
| | | ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ収益 | | 360,000 | 360,000 | 0 |
| | | | 参加費 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 意見交換会費 | 360,000 | 360,000 | 0 |
| | | 現地検討会収益 | | 585,000 | 675,000 | ▲ 90,000 |
| | | | 参加費 | 450,000 | 495,000 | ▲ 45,000 |
| | | | 意見交換会費 | 135,000 | 180,000 | ▲ 45,000 |
| | | 技術講習会収益 | | 80,000 | 0 | 80,000 |
| | | | 参加費 | 50,000 | 0 | 50,000 |
| | | | 意見交換会費 | 30,000 | 0 | 30,000 |
| | | 出版収益 | | 0 | 0 | 0 |
| | | | 会誌頒布 | 0 | 0 | 0 |
| | | | その他の出版 | 0 | 0 | 0 |
| | 協賛・寄付 | | | 600,000 | 600,000 | 0 |
| | | 協賛金 | | 600,000 | 600,000 | 0 |
| | | 寄付金 | | 0 | 0 | 0 |
| | 雑収益 | | | 0 | 0 | |
| | 受取利息 | | | 50 | 50 | 0 |
| | 預り金 | | | 0 | 0 | 0 |
| | 研究発表会収益 | | | 0 | 0 | 0 |
| 本部仮払金 | | | | 0 | 0 | 0 |
| | | | | | | 0 |
| 当期収益合計（A=支部収益+本部仮払金） | | | | 1,625,050 | 1,635,050 | ▲ 10,000 |

| 【費用】 勘定科目 大科目 | 中科目 | 小科目 | 細目 | 当期予算 a | 前期予算 b | 増減 a−b |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 支部費用 | | | | 1,984,000 | 1,894,000 | 90,000 |
| | 事業費 | | | 1,671,000 | 1,631,000 | 40,000 |
| | | ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ会費 | | 525,000 | 530,000 | △ 5,000 |
| | | | 印刷製本費 | 25,000 | 30,000 | △ 5,000 |
| | | | 会場費（会場使用料） | 20,000 | 35,000 | △ 15,000 |
| | | | 会議費（意見交換会含む） | 350,000 | 320,000 | 30,000 |
| | | | 諸謝金 | 50,000 | 50,000 | 0 |
| | | | 旅費交通費 | 60,000 | 60,000 | 0 |
| | | | 借料(ﾊﾞｽ･ﾚﾝﾀｶｰ代) | 0 | 0 | 0 |
| | | | 通信運搬費 | 10,000 | 30,000 | △ 20,000 |
| | | | 支払手数料 | 3,000 | 5,000 | △ 2,000 |
| | | | 消耗品 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 諸会費(CPD認定手数料等) | 5,000 | 0 | 5,000 |
| | | | 雑費 | 2,000 | 0 | 2,000 |
| | | 現地検討会費 | | 754,000 | 722,000 | 32,000 |
| | | | 印刷製本費 | 5,000 | 5,000 | 0 |
| | | | 会場費（会場使用料） | 30,000 | 35,000 | △ 5,000 |
| | | | 会議費（意見交換会含む） | 150,000 | 495,000 | △ 345,000 |
| | | | 諸謝金 | 0 | 20,000 | △ 20,000 |
| | | | 旅費交通費 | 450,000 | 50,000 | 400,000 |
| | | | 借料(ﾊﾞｽ･ﾚﾝﾀｶｰ代) | 100,000 | 80,000 | 20,000 |
| | | | 通信運搬費 | 10,000 | 25,000 | △ 15,000 |
| | | | 支払手数料 | 2,000 | 2,000 | 0 |
| | | | 消耗品 | 2,000 | 2,000 | 0 |
| | | | 諸会費(CPD認定手数料等) | 5,000 | 0 | 5,000 |
| | | | 外注費 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 雑費 | 0 | 8,000 | △ 8,000 |

（その 2）

| 【費用】 勘定科目 大科目 | 中科目 | 小科目 | 細目 | 当期予算 a | 前期予算 b | 増減 a−b |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 技術講習会費 | | 130,000 | 125,000 | 5,000 |
| | | | 印刷製本費 | 10,000 | 10,000 | 0 |
| | | | 会場費（会場使用料） | 15,000 | 15,000 | 0 |
| | | | 会議費（意見交換会含む） | 50,000 | 50,000 | 0 |
| | | | 諸謝金 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 旅費交通費 | 50,000 | 50,000 | 0 |
| | | | 借料(ﾊﾞｽ･ﾚﾝﾀｶｰ代) | 0 | 0 | 0 |
| | | | 通信運搬費 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 支払手数料 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 消耗品 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 諸会費(CPD認定手数料等) | 5,000 | 0 | 5,000 |
| | | | 外注費 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 雑費 | 0 | 0 | 0 |
| | | ※その他の事業活動 | | 262,000 | 254,000 | 8,000 |
| | | | 印刷製本費(機関誌) | 170,000 | 170,000 | 0 |
| | | | 会場費（会場使用料） | 20,000 | 20,000 | 0 |
| | | | 会議費（意見交換会含む） | 25,000 | 25,000 | 0 |
| | | | 広告宣伝費 | 0 | 0 | 0 |
| | | | ﾊﾟｰﾄ･ｱﾙﾊﾞｲﾄ代 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 諸謝金 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 旅費交通費(社会貢献･緊急調査) | 20,000 | 20,000 | 0 |
| | | | 借料(ﾊﾞｽ･ﾚﾝﾀｶｰ代) | 0 | 0 | 0 |
| | | | 通信運搬費 | 16,000 | 18,000 | △ 2,000 |
| | | | 情報システム費(HP関係等) | 0 | 0 | 0 |
| | | | 支払手数料 | 1,000 | 1,000 | 0 |
| | | | 消耗品 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 備品 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 外注費 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 支払保険料 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 諸会費(CPD認定手数料等) | 0 | 0 | 0 |
| | | | 賞金・賞品(副賞・感謝状等) | 10,000 | 0 | 10,000 |
| | | | 雑費 | 0 | 0 | 0 |
| | | | その他 | 0 | 0 | 0 |
| | 管理費 | | | 313,000 | 263,000 | 50,000 |
| | | 給与・手当 | | 0 | 0 | 0 |
| | | | ﾊﾟｰﾄ給与 | 0 | 0 | 0 |
| | | | ｱﾙﾊﾞｲﾄ給与 | 0 | 0 | 0 |
| | | 会場費 | | 10,000 | 10,000 | 0 |
| | | 会議費 | | 60,000 | 25,000 | 35,000 |
| | | | 支部総会 | 20,000 | 0 | 20,000 |
| | | | 幹事会・運営委員会 | 40,000 | 25,000 | 15,000 |
| | | 印刷製本費 | | 10,000 | 30,000 | △ 20,000 |
| | | 旅費交通費 | | 50,000 | 30,000 | 20,000 |
| | | 借料 | | 0 | 0 | 0 |
| | | 通信運搬費 | | 5,000 | 5,000 | 0 |
| | | 消耗品（事務用品など） | | 25,000 | 5,000 | 20,000 |
| | | 備品 | | 0 | 0 | 0 |
| | | 外注費 | | 150,000 | 150,000 | 0 |
| | | 支払手数料 | | 2,000 | 3,000 | △ 1,000 |
| | | 雑費 | | 1,000 | 5,000 | △ 4,000 |
| | | | | | | |
| 当期費用合計（B） | | | | 1,984,000 | 1,894,000 | 90,000 |
| | | | | | | |
| 当期収支差額(C＝A－B) | | | | △ 358,950 | △ 258,950 | △ 100,000 |
| 前期未払金 | | | | 17,850 | 17,850 | |
| 前期前払金 | | | | | | |
| 前期繰越額 | | | | 1,784,961 | 1,903,981 | △ 119,020 |
| 次期繰越額 | | | | 1,443,861 | 1,662,881 | △ 219,020 |

## ○ 第五号議案　支部運営規則改定（案）の件

2018年度総会において支部組織の見直しと組織改編が承認されたことを受けて、従来の支部運営規定（平成24年10月）を、巻末に添付する「支部運営規則（案)」に改定する。合わせて、「支部表彰規定（案)」を改定する。

・目的　　：支部組織との整合、総会、委員、委員会、会計等の明確化を図る。

・施行時期　：2019年4月23日（案）

・支部規則類：運営規則、旅費規定、表彰規定

## ○ その他

### (1) 代議員選挙結果について

2019～2020 年度の代議員選挙の結果、下記の方々が代議員として選出されました。

| | 氏名 | 読み | 所属機関名 |
|---|---|---|---|
| 1 | 池田　浩二 | ｲｹﾀﾞ　ｺｳｼﾞ | 株式会社東北開発コンサルタント |
| 2 | 井良沢 道也 | ｲﾗｻﾜ　ﾐﾁﾔ | 岩手大学 |
| 3 | 石川　晴和 | ｲｼｶﾜ　ﾊﾙﾅ | 株式会社アドバンテクノロジー |
| 4 | 大澤　宏明 | ｵｵｻﾜ　ﾋﾛｱｷ | 株式会社復建技術コンサルタント |
| 5 | 大村　泰 | ｵｵﾑﾗ　ﾔｽｼ | 奥山ボーリング株式会社 |
| 6 | 熊井　直也 | ｸﾏｲ　ﾅｵﾔ | 国土防災技術株式会社 |
| 7 | 山田　知寛 | ﾔﾏﾀﾞ　ﾄﾓﾋﾛ | 日本工営株式会社 |
| 8 | 渡辺　修 | ﾜﾀﾅﾍﾞ　ｵｻﾑ | 合同会社水文企画 |

### (2) 事務局移転について

事務局を下記のとおり移転する。

・移転場所　：(株) テクノ長谷　→　(株) 復建技術コンサルタント

・事務局　　：大澤宏明（出納責任者）　羽生こずえ（事務局）

・移転時期　：2019 年 5 月(予定)

・事務局連絡先：　〒980-0012　宮城県仙台市青葉区錦町 1 丁目 7-25

TEL 022-262-1234　FAX　022-265-9309

E-mail：landslide-tohoku@sendai.fgc.co.jp　(東北支部専用)

これに伴い、支部監事を以下のとおり変更する。なお、新監事の任期は現監事の残任期間とし、次期総会における役員改選時にで改めて選任する。

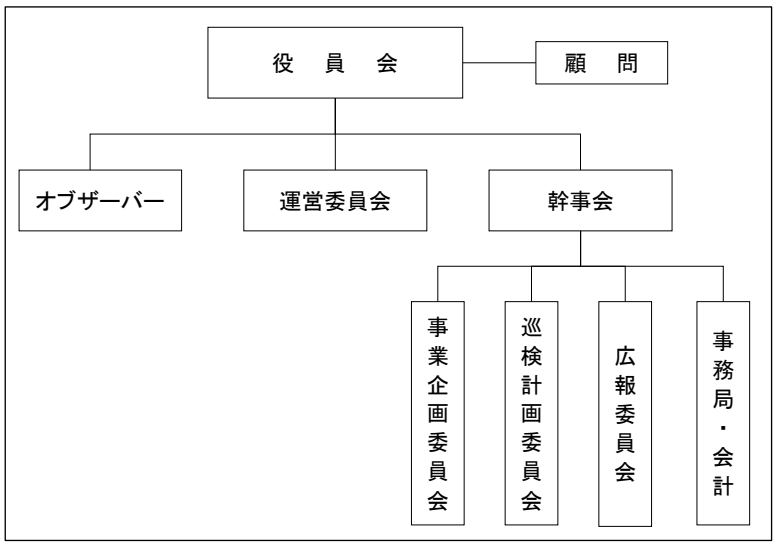
・現監事　　：三上登志男（(株) 復建技術コンサルタント）

渋谷　保　（日特建設（株））

・新監事　　：渋谷　保　（日特建設（株））

橋本修一　（(株) 東北開発コンサルタント）

### (3) 支部組織




＜東北支部組織図（平成29年度総会議決）＞

① 役員・運営委員・オブザーバー

| | | |
|---|---|---|
| 顧　　問 | 盛 合 禧 夫 | 東北工業大学名誉教授 |
| **支 部 長** | 大 河 原 正 文 | 岩手大学理工学部准教授 |
| 副支部長 | 金 子 和 亮 | 日本工営（株）仙台支店副技師長 |
| **監　　事** | 渋 谷 保 | 日特建設（株）東北支店技術部長 |
| | 橋 本 修 一 | （株）東北開発コンサルタント専門役 |
| **運営委員** 1 | 井 良 沢 道 也 | 岩手大学農学部教授 |
| 2 | 梅 村 順 | 日本大学工学部専任講師 |
| 3 | 八 木 浩 司 | 山形大学地域教育文化学部教授 |
| 4 | 大 月 義 徳 | 東北大学大学院理学研究科助教 |
| 5 | 奥 山 武 彦 | 山形大学農学部教授 |
| 6 | 千 葉 則 行 | 東北工業大学工学部教授 |
| 7 | 檜 垣 大 助 | 弘前大学農学生命科学部教授 |
| 8 | 宮 城 豊 彦 | 東北学院大学名誉教授 |
| 9 | 阿 部 真 郎 | 奥山ボーリング（株）顧問 |
| 10 | 熊 井 直 也 | 国土防災技術（株）福島支店長 |
| 11 | 森 一 司 | 日特建設（株）技師長 |
| 12 | 熊 谷 茂 一 | （一社）斜面防災対策技術協会　東北支部長 |
| 13 | 高 見 智 之 | 国際航業（株）東北支社技術部長 |
| 14 | 八 鍬 健 | （株）日さく仙台支店長 |
| 15 | 三 上 登 志 男 | （株）復建技術コンサルタント技師長 |
| 16 | 濱 崎 英 作 | （株）アドバンテクノロジー社長 |
| 17 | 山 崎 孝 成 | 国土防災技術（株）技術顧問 |
| 18 | 森 屋 洋 | 奥山ボーリング（株）技師長 |
| 19 | 山 科 真 一 | 国土防災技術（株）東日本地域統括部長 |
| 20 | 鄒 青 穎 | 弘前大学農学生命科学部助教 |
| 21 | 齋 藤 勝 | （株）ダイヤコンサルタント東北支社支社長 |
| 22 | 武 田 茂 典 | 基礎地盤コンサルタンツ（株）東北支社技術統括部長 |
| 23 | 新 田 雅 樹 | 応用地質（株）東北事務所　グループマネジャー |

ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ

1 国土交通省東北地方整備局河川計画課課長
2 国土交通省東北地方整備局新庄河川事務所所長
3 農林水産省東北農政局農村振興部農村環境課地質官
4 農林水産省東北農政局防災課課長
5 林野庁東北森林管理局治山課課長
6 青森県県土整備部河川砂防課課長
7 〃　農林水産部農村整備課課長
8 〃　農林水産部林政課課長
9 秋田県建設部河川砂防課課長
10 〃　農林水産部森林整備課課長
11 〃　農林水産部農地整備課課長
12 岩手県県土整備部砂防災害課課長
13 〃　農林水産部農村建設課課長
14 〃　農林水産部森林保全課課長
15 宮城県土木部防災砂防課課長
16 〃　農林水産部農地整備課課長
17 〃　農林水産部森林整備課課長
18 山形県県土整備部砂防・災害対策課課長
19 〃　農林水産部林業振興課森林保全主幹
20 〃　農林水産部農村整備課課長
21 福島県土木部砂防課課長
22 〃　農林水産部森林保全課課長
23 〃　農林水産部農村基盤整備課課長
24 東日本高速道路（株）東北支社技術企画課課長
25 東日本旅客鉄道（株）仙台支社工事課課長
26 東北電力（株）土木建築課課長

② 幹事

| 区分 | 委員会 | 氏名 | 所属 |
|---|---|---|---|
| 幹事長 | | 瀬野孝浩 | (株)新東京ジオ・システム |
| 副幹事長 | 事業企画 | 渡辺　修 | (同)水文企画 |
| | 巡検計画 | 三嶋昭二 | 応用地質(株) |
| | 広報 | 大村　泰 | 奥山ボーリング(株) |
| 幹事 | 事業企画 | 増田由紀子 | 日特建設(株) |
| | | 押見和義 | (株)復建技術コンサルタント |
| | | 新田邦弘 | 地質基礎工業(株) |
| | | 西　俊憲 | 基礎地盤コンサルタンツ(株) |
| | | 小林基比古 | 日本工営(株) |
| | 巡検計画 | 井上　宏 | 日本工営(株) |
| | | 伊藤靖雄 | (株)ダイヤコンサルタント |
| | | 石川恵司 | (株)日さく |
| | | 柴崎達也 | 国土防災技術 |
| | | 細谷健介 | 新和設計(株) |
| | 広報 | 石川晴和 | (株)アドバンテクノロジー |
| | | 黒墨秀行 | (株)総合土木コンサルタンツ |
| | | 池田浩二 | (株)東北開発コンサルタント |
| | | 中臺直之 | (株)新東京ジオ・システム |
| 会計･事務局 | | 大澤宏明 | (株)復建技術コンサルタント |

| 名　　称 | 実行内容 |
|---|---|
| 事業企画委員会 | 支部総会･シンポジウム、社会貢献･会勢拡大活動、他学会・協会との交流活動についての企画･運営、斜面変動コロキウムの実行 |
| 巡検計画委員会 | 地すべり現地検討会の企画･開催、災害時の調査団派遣検討及び調査報告書の作成 |
| 広報委員会 | 支部活動に関わる情報提供や広報活動、支部HP運営･管理、メール配信及び支部だよりの作成･配布 |

### (4) 協賛金について

支部運営は協賛各団体からの協賛金によって運営されております。これまで協賛金のお願いを年末に行っておりましたが､今年度より総会後より３ヶ月以内でのお振り込みをお願いします｡また、協賛を頂いた団体・企業については「支部だより」に掲載させて頂きます。

振り込みのご案内は、総会後に事務局よりご連絡しますので、よろしくお願いいたします。

## ○ 報告事項ほか

### ■本部開催事業

**(1)　2019 年度（公社）日本地すべり学会総会及びシンポジウム**

① 場所　学術総合センター内「一橋大学一橋講堂」（東京都）

② 日程　2019 年 6 月 14 日　　10：00～16：50（予定）

**(2)　2019 年度第 58 回（公社）日本地すべり学会研究発表会及び現地見学会**

① 場所　KKR ホテル（熊本県熊本市）

② 日程　2019 年 8 月 20 日～8 月 23 日（予定）

③ 申込期限　学会 HP 大会 Web ページより申込み

**(3)　災害調査報告会**

① 場所　学術総合センター内「一橋大学一橋講堂」（東京都）

② 日程　2019 年 11 月 21 日（予定）

### ■支部開催事業

**(1)　東北支部地すべり現地検討会**

① 場所　岩手県八幡平市「八幡平地すべり」

② 日程　2019 年 9 下旬～10 月中旬

**(2)　斜面変動コロキウム**

① 場所　仙台市ほか

② 2 ヶ月に 1 回開催、計 5 回程度を予定

### ■書籍販売

**「東北の地すべり・地すべり地形」**

**：分布図と技術者のための活用マニュアル**（地すべり学会東北支部, 1992,142 頁）

東北支部で執筆、出版した書籍です。東北地方の地すべり地形分布を地質図と対比させたもので、地すべり調査等に携わる技術者向けにわかりやすく解説したもので、これまで多くのご購入を頂いており、在庫は残りわずかとなりました。

希望者には 1 冊 5,000 円（定価 20,000 円）で販売しておりますので、ご希望の方は事務局または幹事長（瀬野）までご連絡をお願いします。

## ○　表 彰

支部表彰規定第3条2項に則り、以下の団体及び個人を表彰する。

■東北支部賞：東北地方の地すべりに関する研究、支部活動への顕著な功績

檜垣大助　様　　宮城豊彦　様　　千葉則行　様

■感謝状：多年にわたる事務局として支部活動へ貢献

株式会社テクノ長谷　様

## 支部協賛団体（３７社）

一般社団法人 斜面防災対策技術協会東北支部
株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング 東北支社
株式会社アドバンテクノロジー
応用地質株式会社 東北事務所
奥山ボーリング株式会社
川崎地質株式会社 北日本支社
基礎地盤コンサルタンツ株式会社 東北支社
株式会社計測技研
国際航業株式会社 東北支社
国土防災技術株式会社 東北支社
株式会社新東京ジオ・システム
新和設計株式会社
合同会社水文企画
株式会社総合土木コンサルタンツ
株式会社測商技研 秋田支店
株式会社ダイヤコンサルタント 東北支社
株式会社地質基礎
中央開発株式会社 東北支店
株式会社テクノ長谷
株式会社東建ジオテック 東北支店
東光計測株式会社
東邦技術株式会社
東北ボーリング株式会社
土木地質株式会社
日栄地質測量設計株式会社
株式会社日さく 仙台支店
日鉄鉱コンサルタント株式会社 東北支店
日特建設株式会社 東北支店
日本基礎技術株式会社 東北支店
日本工営株式会社 仙台支店
株式会社平野組
不二ボーリング工業株式会社 仙台支店
株式会社復建技術コンサルタント
株式会社北杜地質センター
三菱マテリアルテクノ株式会社 秋田支店
明治コンサルタント株式会社 仙台支店
ライト工業株式会社 東北総括支店